

2024年度 東海学園大学大学院
経営学研究科 経営学専攻 修士課程

前期 試験問題

2023年9月30日実施

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまでこの問題冊子は開かないでください。
2. この冊子は問題用紙1枚（論述・英語）と解答用紙2枚（論述用・英語用）です。
試験中に印刷不良等に気付いた場合は、手をあげて監督者に知らせてください。
3. 試験時間中に気分が悪くなった場合は、すみやかに手をあげて監督者に知らせてください。
4. 原則として、試験終了時間まで退室は認めません。
5. 試験開始と同時に、それぞれの解答用紙に受験番号、氏名を記入し、試験終了時に再度確認してください。
6. 試験終了時は、解答用紙を机に伏せて置いてください。
7. この問題用紙は持ち帰ってください。

I 次の(1)～(4)の課題から1題選択し、解答せよ。

- (1) 自らがこれまで学んできた経営学分野の諸学説のうち、自分が最も興味を持ち、かつ、最も理解しているものについて概説せよ。
- (2) 「破壊的イノベーション」及び「持続的イノベーション」について、その概要を説明したうえで、事例をもとに論ぜよ。
- (3) 次の設問のうち2問を選択し、その問題番号を記入した上で解答せよ。
 - ① 社会における財務報告の意義について説明せよ。
 - ② 統合報告書について説明せよ。
 - ③ 固定資産の減価償却処理について説明せよ。
- (4) 租税法律主義を定める日本国憲法の条文を特定した上で、その内容と機能について論ぜよ。

II 次の英文を読んで、以下の設問に解答せよ。

The (a)public sector differs from the private sector in an important way: Governments provide monopoly services in their particular jurisdictions. As a result, the demand for public goods and services in a particular locale is quite (b)inelastic. (c)That is, consumers cannot substitute one provider for another as is true for most private goods and services. The upshot, according to some observers, is that the (d)derived demand for public employees is also highly inelastic. (e)This inelastic demand allegedly gives public sector unions extraordinary bargaining power.

(注) : particular jurisdictions—管轄領域, allegedly—～だと言われている,

(Source: McConnell, Campbell R., Brue, Stanley L., and Macpherson, David A.(2013) *Contemporary Labor Economics*(10th Ed), McGraw Hill)

1. 下線部(a)の意味を日本語で答えよ。
2. 下線部(b)はどのような状態か。「価格」および「需要量」という言葉を用いて日本語で説明せよ。
3. 下線部(c)を日本語に訳せ。
4. 下線部(d)は日本語では「派生需要」と訳されるが、この「派生」の意味を日本語で答えよ。
5. 下線部(e)を日本語に訳せ。